

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくしんぼくらぶ		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月27日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【環境・体制整備】 ・訓練等の活動スペースが、十分に保てている。 ・スタッフ数(行政指定の常勤換算数)が適正である(指定換算数を上回っている)。	【環境・体制整備】 ・居室面積を十分に確保している。 ・児童の特性に応じてフロア・居室を分けて活動している。 ・指導員は全て常勤スタッフで配置している。	【環境・体制整備】 ・常勤スタッフの確保・積極採用を推進していく。 ・資格・専門スキル等の取得をサポートしていく(研修参加・外部交流)。
2	【満足度】 ・保護者+児童からの、通所に対する安心感・信頼感を得ている	【満足度】 ・スタッフが定着している(令和5年・6年は退職者無し)。 ・事業所での出来事を全て報告している(原則連絡帳、必要に応じて通所前後での電話連絡など)。 ・直接支援学校への送迎を実施している(教員からの引継ぎを受けている)。	【満足度】 ・勤務条件の都度見直し(勤務時間・日数・昇給など)・残業無し・有休消化推奨など、積極的にを行う。 ・スタッフ間の報告・連絡・相談の徹底(定例ミーティング実施・ヒヤリハットの活用)。 ・保護者対応を更に充足していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【適正な支援の提供】 ・近隣地域や関係機関との交流全般が不足しており、関係性が希薄である。	【適正な支援の提供】 ・近隣住民と同様に、役所・地域小中学校・町内会・児童会・老人会等との関りが少なく、活動認知度が低い。 ・規程勤務時間内での取り組みが現状難しい事が課題。	【適正な支援の提供】 ・管轄内での集会・会議等への更なる参加を促進していく。 ・オンラインシステム(ZOOM等)の活用。 ・事業所でのイベント実施を外部向けにも徐々に開放していく事を検討する。
2	【保護者への説明等】 ・保護者・きょうだい同士の交流が不足している。	【保護者への説明等】 ・保護者間の都合・調整等が多岐にわたり難しい。 ・交流に消極的(家内の出来事を話したくない)な保護者が多い事も課題。 ・日々の様子を伝えるツールとして連絡帳(文章)だと反応が薄い(読んでくれない)場合がある。	【保護者への説明等】 ・電話連絡や送迎時等で、直接対面交流の場を増やしていく必要がある。 ・保護者によっては、必要に応じて面談回数を増やす事も検討(定例+臨時)。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		つくしんぼくらぶ				公表日		回収数	
						利用児童数	18	回収数	18
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	4	0	0	階段の滑り止め設置をお願いしたい。	費用・時期などを考慮して、設置を検討する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	0	0			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	0	スタッフの接し方・支援スキル等に個人差が見受けられる。	勤務歴や資格有無によっても異なるが、原則は支援計画に基づいた対応を共通認識とする。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3	1	5			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	3	2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	5	4			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	0	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	3	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくしんぼくらぶ		公表日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・フロアを分けて(2階・3階)活動している	・階段箇所に滑り止め加工を検討
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・児童指導員の専従スタッフを全日2名配置している ・常勤スタッフのみを配置している	・スタッフ数は法定基準内だが、休みを取る場合は苦慮する事がある ・障がい特性により対応職員が偏ってしまう
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・1日の予定を掲示等で可視化している ・障がい特性よりフロアを分けている	・写真やイラストの導入を更に行う ・階段昇降の為、身体障がい児の利用は困難
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・十分な訓練室面積を確保 ・空気清浄機を設置 ・定期的に清掃を行う	・劣化箇所の修繕(壁・カーペット等)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		・設備の劣化(トイレ・エアコン等)
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・個別児童の課題報告会・終礼・ミーティング等を定例実施している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・ミーティングや課題報告会の時間を活用 ・希望により個別面談も随時実施している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		・外部評価の意図・実施の理解が十分で無い。業務改善への反映・フィードバックにて共通認識を図る
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・施設外研修には概ね参加。研修報告にて共有している	・法人内での研修機会は少なめと思われる
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・保護者面談、アセスメントシート更新は定期的に実施 ・面談毎にニーズ確認・反映している	・障害特性と保護者ニーズが乖離している場合がある
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・会議・ミーティング時に共有	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・専門知識・支援の更なる導入も検討必要
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・面談時に保護者に説明している	・地域支援・地域連携の箇所の立案が難しい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・ミーティング等を行い、役割を決める ・支援開始前・中・後でも、情報は報告+共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・業務後終礼を実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・日々の支援日誌はもちろん、支援内容の記録も蓄積している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・必要に応じて、医療機関へ付添受診	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・利用開始前に未就学児施設を見学、引継ぎ・情報共有を密に行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・同法人内に成人施設(就B)がある ・依頼があれば、積極的に情報共有している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		・連携不足であり、関係強化検討が課題
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		・交流不足であり、関係強化検討が課題
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・さかい障がい児放課後連絡会や移動支援ネットワークに参加(任意加盟)している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・日々の連絡帳で、活動の様子を伝える	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・必要に応じて、情報提供・助言している	・家族支援プログラムの導入は今後の課題充足は今後の課題
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明、同意をもらっている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・本人+保護者から同意のサインをもらっている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・本人+保護者から同意のサインをもらっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・個別面談時に、家庭の様子を聞き取り、必要に応じてアドバイス・助言をしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		・保護者同士の活動の場を設ける機会はほぼ無く、実施検討は今後の課題
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・不定期ではあるが活動通信を作成・発行している ・行事予定などは都度案内を配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・行事への招待は自粛傾向、地域清掃や物品提供等で認知・活動をアピールしている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・避難訓練の実施、非常食を食するイベント・活動も実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現状は対象者がいないが、初回・継続契約時に必ず聞き取りを実施する等、都度情報を共有している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・身体拘束についての同意書（対象利用者）を取り、支援計画等に反映。身体拘束を行った際は詳細を支援日誌に記載している	